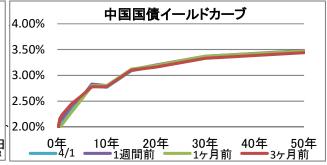
# セントラル短資中国金融市場调報 (2022年3月28日~2022年4月1日)

基準レ	- <b> </b>	2022/4/1	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3509	-0.0230
	JPY/CNY	5.2115	0.0011
SHIBOR	3M	2.3720%	+0.0030%
国債利回り	10年	2.77%	-0.03%
上海総合指数		3,282.72	+70.48





## (1) 概況

国際金融市場は、米雇用統計を控えていることやウクライナ停戦合意への期待が時間の経過とともに低下したこと、米国の原油戦略備蓄放出による原油価格下落等の材料から方向感のない狭いレンジ内での取引となり、米雇用統計も市場のFRBの金融政策見通しを変える内容とはならなかったことから、概ね横ばい推移となった。

中国金融市場では、上海市でのロックダウンによる経済への影響に加え、四半期末や清明節を控えていることもあって金融市場参加者も消極的な取引姿勢となったことから総じて小動きとなる中、経済指標の悪化と国務院での経済支援方針が確認されたことから、中国政府の金融財政両面での景気支援策への期待が一段と高まり、株式市場は上昇し、債券利回りは低下している。外国為替市場では、ドル人民元の上値は重く、6.35台まで反落している。

中国では、国際的にはウクライナや対米関係への対応に加え、国内ではCOVID-19感染拡大による経済への影響が顕在化する中で上海をロックダウンすることとなる等、全人代で高めの経済成長目標を掲げる中で政治経済環境が一段と厳しくなっていることに対し、国務院が常務会を開催して政策前倒しによる経済支援を確認する強いメッセージ出している。金融関係では、中国人民銀行は、デジタル人民元の試験地域を天津や重慶等に拡大し、銀保監会が銀行認可手続きの内外格差解消に向けた規則改定のパブコメ募集を開始し、証監会は国外での証券発行や上場に関する情報管理と監督当局との協力に関する規則のパブコメ募集を開始している。

#### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1,900億元に対し、新規リバースオペ6,100億元を実施し、差し引き4,200億元を供給している。

#### (3) 主な経済指標

- ・<u>国家統計局PMI(3月)</u>は、製造業が49.5%(2月50.2%)、非製造業48.4%(同51.6%)、総合48.8%(同51.2%)と、ウクライナ問題や中国国内でのCOVID-19感染拡大の影響から50を下回った。価格指数と将来期待は上昇しているものの、受注、生産等の主要指数が軒並み50%を下回っている。
- ・<u>財新製造業PMI(3月)</u>は、48.1(2月50.4)と2年ぶりの低水準に急落している。価格指数が急騰し、雇用が回復に 転じる一方で受注や生産が急落したことによる。

# ②資金市場

## (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD
	SHIDOK	無 具 和 型 無	DAK	AAA
ON	1.6040%	1.3200%	1.1500%	
1W	2.0170%	1.8500%	1.6000%	2.0000%
2W	2.0000%	2.0000%	1.9000%	2.0000%
1 M	2.3070%	2.0000%	1.8000%	2.2000%
3M	2.3720%	3.4500%	2.1000%	2.3500%
6M	2.4520%			2.4500%
9M	2.5130%			2.5200%
12M	2.6060%			2.5600%

四半期末に向けて中国人民銀行が積極的な資金供給を実施したことや金融緩和への期待の根強さ等から、四半期末を波乱なく乗り切っている。4月に入ると資金需給の大幅改善により、金利水準は低下したもののターム物は1ヶ月の2.2%以下での出合いを除き限定的。

NCDも、3月末までは下げ渋っていたものの、4月に入ると四半期末要因がなくなり、金融緩和期待も高まって金利水準は低下。ターム物は、1ヶ月が2.20%、3ヶ月が2.35%、6ヶ月が2.45%、1年が2.55%前後で取引されている。

# (2) 米ドル資金(本土内)

/ VIVI // SQ. (***			
	BID	OFFER	
ON	0.22%	0.25%	
1W	0.25%	0.35%	
1M	0.50%	0.55%	
3M	0.80%	0.90%	
6M	0.90%	1.10%	
12M	1.30%	1.60%	

四半期末に加え、ウクライナ情勢の先行き不透明感が払拭されず、米雇用統計を控えていることから、短期中心の取引に終始し、ターム物の出合いは1ヶ月の0.50%前後を除き限定的。

# ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.88%	1.96%	2.25%	2.51%	2.73%
6M	2.02%	2.08%	2.34%	2.53%	2.80%
1Y	2.11%	2.18%	2.58%	2.65%	2.94%
3Y	2.38%	2.63%	2.92%	3.09%	3.57%
5Y	2.55%	2.82%	3.26%	3.46%	4.21%
10Y	2.77%	3.12%	3.68%	3.81%	4.61%

債券市場では、3月中は短期で四半期末とあって利回りが上昇したものの、中長期は金融緩和期待が根強く横ばい推移となった。4月に入ると資金需給の好転やCOVID-19感染拡大による経済への影響への懸念や国務院等から経済支援に向けた方針が伝わり、利回りは短期を中心に低下。10年国債利回りは2.77%に低下している。

4月に入り短期債利回りが大きく低下したことや、信用債の利回りが下げ渋ったこと等から、イールドカーブはスティープニングに転じ、クレジットスプレッドは中長期で拡大している。

# 4) 先物為替市場

	USD / CNY
1W	22.0 / 24.0
1 M	125.0 / 126.0
3M	308.0 / 310.0
6M	533.0 / 535.0
9M	660.0 / 670.0
12M	750.0 / 760.0

対ドル基準レートは6.3509と前週末比-230pipsのドル安元高、対円基準レートは5.2115と同+11pipsの円高元安と、対ドルではやや元高に戻す展開となった。国内市場では、ウクライナ情勢改善期待からそれまでの元安から反転したものの、清明節を控えていることや上海のロックダウンにより市場参加者が限定的となっており、値動きは限定的。

先物は、四半期末や清明節の要因と上海でのロックダウンの影響等から値動きは限定的となっているものの、米国の金融引き締め加速懸念と中国での金融緩和期待から1年物は700台後半に縮小。

# ⑤金利スワップ

TE-1 37 1 7 7 7 7			
	Quarterly	Quarterly	Annually
	7d Repo	3M SHIBOR	O-N SHIBOR
	A/365	A/365 A/360	A/365 A/360
3M	2.12%		1.97%
6M	2.16%	2.41%	1.99%
9M	2.17%	2.43%	2.01%
1Y	2.18%	2.48%	2.03%
3Y	2.35%	2.75%	2.29%
5Y	2.55%	3.01%	
7Y	2.70%	3.18%	
10Y	2.85%	3.35%	

スワップ金利は、4月に入ると資金需給の改善と金融緩和期待を背景に国債利回り、短期基準金利ともに低下したことから低下に転じている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、基準金利の低下や金融緩和期待から縮小している。

<sup>◆</sup>本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

<sup>◆</sup>本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

<sup>◆</sup>金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。